



だれもが大切にされる学校

令和5年度 第1号



文責:佐藤

大庭小学校だより

誰もが大切にされる学校をめざして

令和5年度がスタートしました。新入生77名、全校490名です。

学校長の佐藤です。大庭小学校 2年目となりました。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。さて、今年度は、大庭小学校の目指す学校像を「誰もが大切にされる大庭小学校」としました。子どもたちは当然のこととして、大庭小学校にかかわるすべての方、保護者や地域の方も大切にされる学校をめざします。さらに教職員を大切に、働き方改革で「働きがい」と「働きやすさ」の両立もめざします。



この学校像は教職員だけではなく、児童をはじめ「誰もが誰をも」大切にすることで実現できます。一人一人の思いやりが次々と輪を広がることで醸成されていくものです。一人一人が当事者意識を持つことが鍵だと考えています。保護者の皆様にはわが子の幸せだけではなく、大庭小学校を自分たちの学校とお考えになり、すべての子どもの幸せをお考えいただきますようお願いいたします。

大切にされ、安心できる環境の中でこそ、子どもたちは自分たちで成長していきます。これは、大人も同じかもしれません。成果のあがる集団は、心理的安全性が高いと言われます。心理的安全性とは、自分の意見や気持ちを安心して述べることができる環境です。「こんなこと言ったらどう思われるだろう」という心配なく、一人一人が自分の意見を表現できるということです。心理的安全性の高い教室や職員室、だれもが大切にされる学校を創っていきたいと思います。

その中で自立に向けた力を培っていきます。キーワードは「自己決定、自分で決める」です。他ならぬあなたが決めたことをみんなで尊重することが、あなたを大切にすることになるからです。「人生は選択の連続、今のあなたはその選択の結果」という言葉もあります。自分で選択・決定し、自分の人生をたくましく生きていく人を育てていきたく願っています。どうぞお力添えください。

この学校だよりは不定期で発行します。日々の大庭小学校の様子はホームページでご覧いただくと幸いです。 → → → → → → → →

